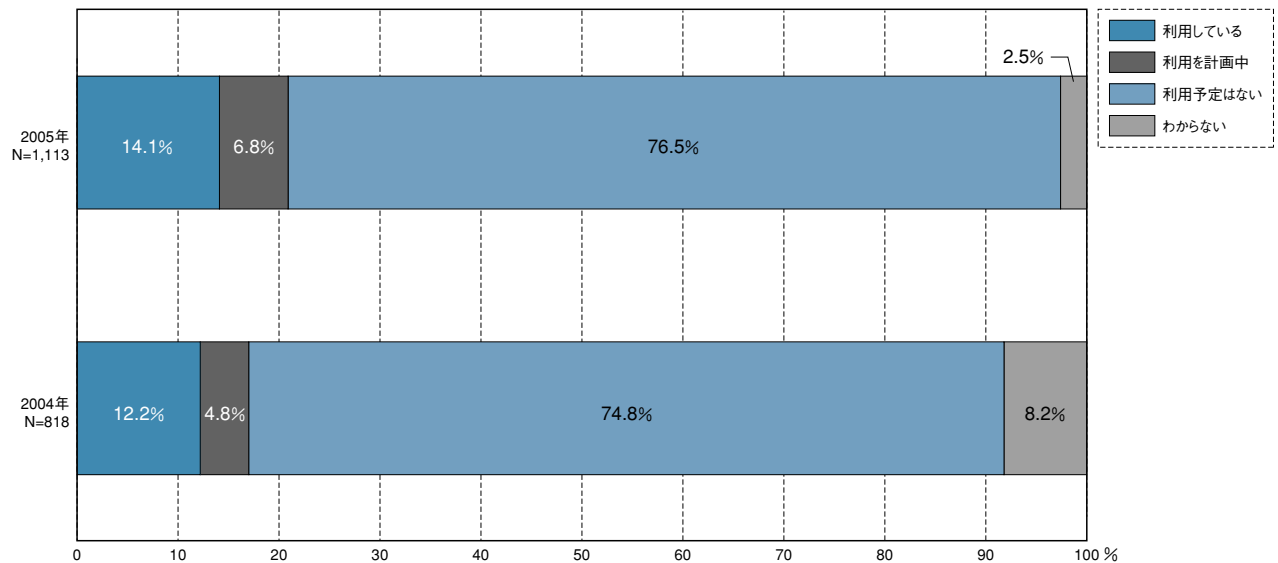


ASP

利用予定のない企業が76.5%

資料3-3-10 ASP利用の有無 (2004年-2005年)

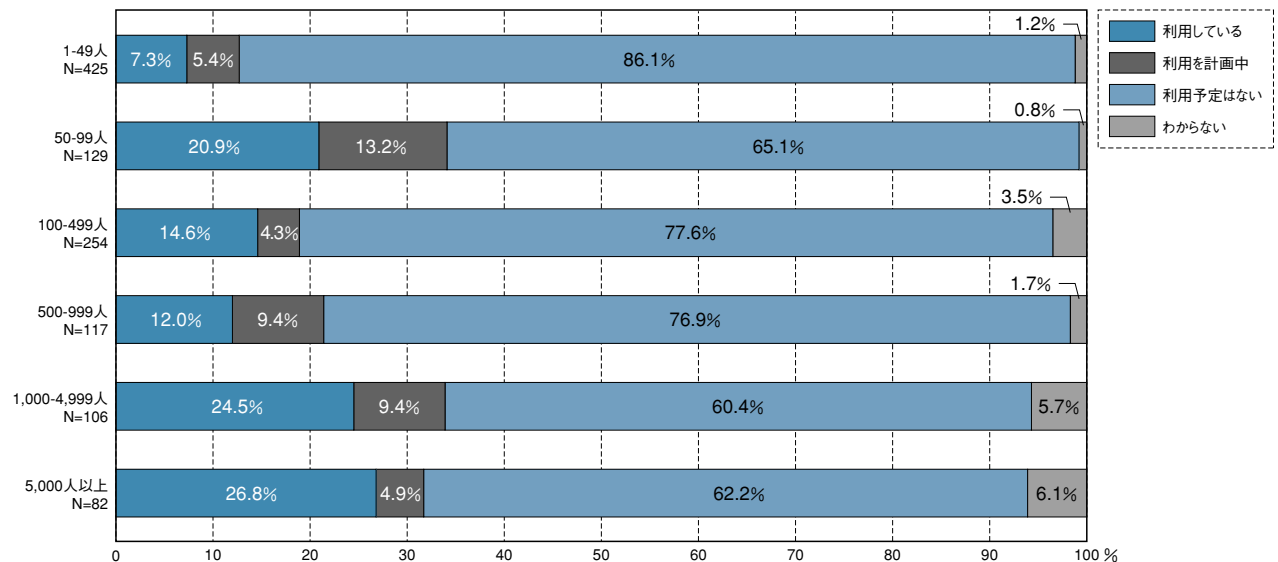


ASPの利用率は14.1%である。昨年と比較すると「利用を計画中」を加えても利用意向は2割を超えてはいるが、「利用予定はない」は76.5%でASPを利用しない企業が圧倒的に多い。「わからない」回答率が低いことから、ASPに関する利用意向は明確になってきたといえる。

©Access Media/ impress,2005

製造業、コンピュータ関連サービス業の利用率が高い

資料3-3-11 従業員規模別 ASP利用の有無



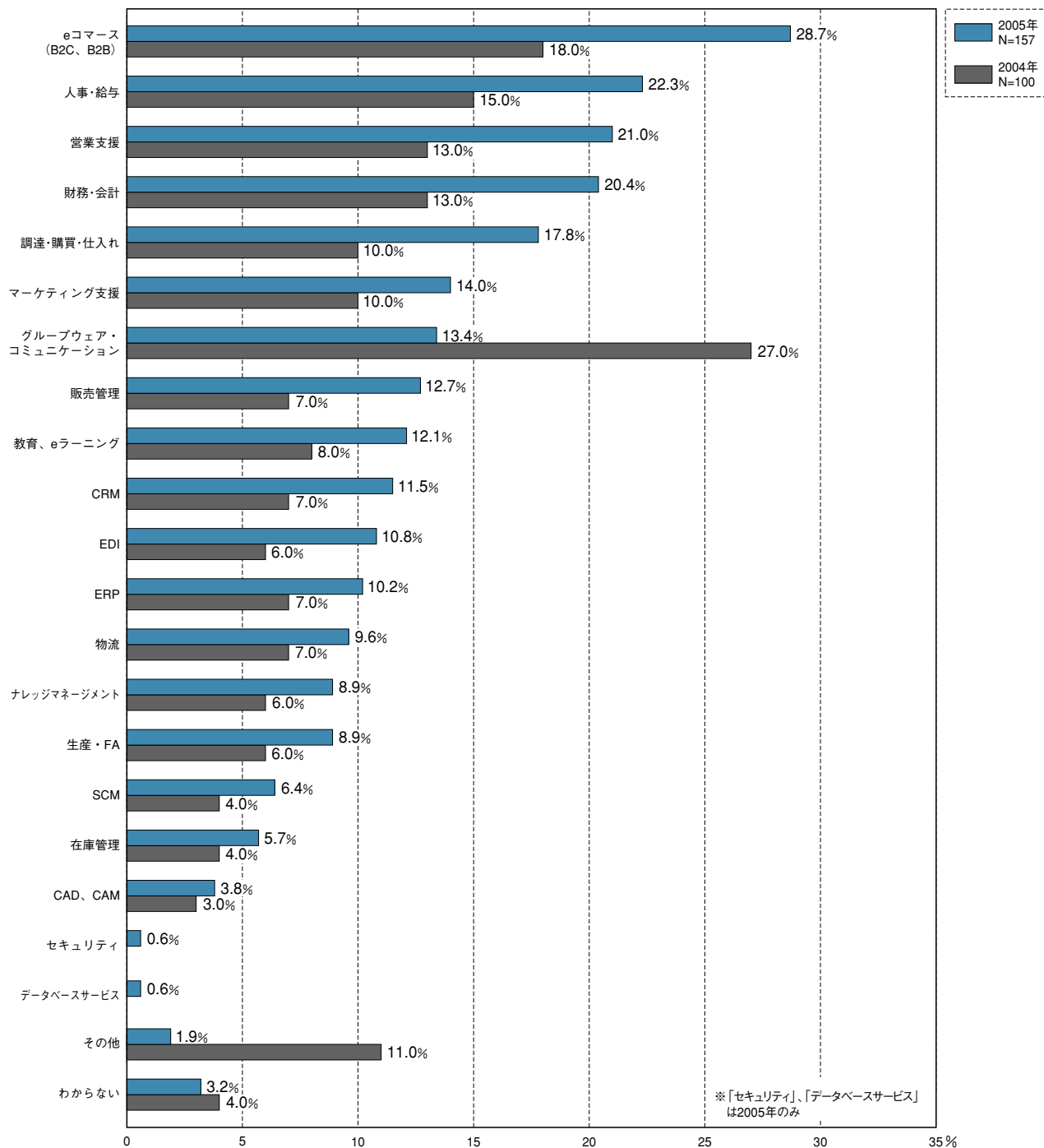
従業員規模別では、1,000人以上の大規模企業の利用率が高い。また、50-99人といった中小規模の企業の利用率も高い。業種別では、製造業、コンピュータ関連サービス業のASP利用率が高く、これらの業種は、大規模と中小規模が多いことから業種との相関がみられる。

©Access Media/ impress,2005

ASP

eコマースの利用が28.7%とトップ

資料3-3-12 ASPの利用目的 (2004年-2005年) (複数回答)



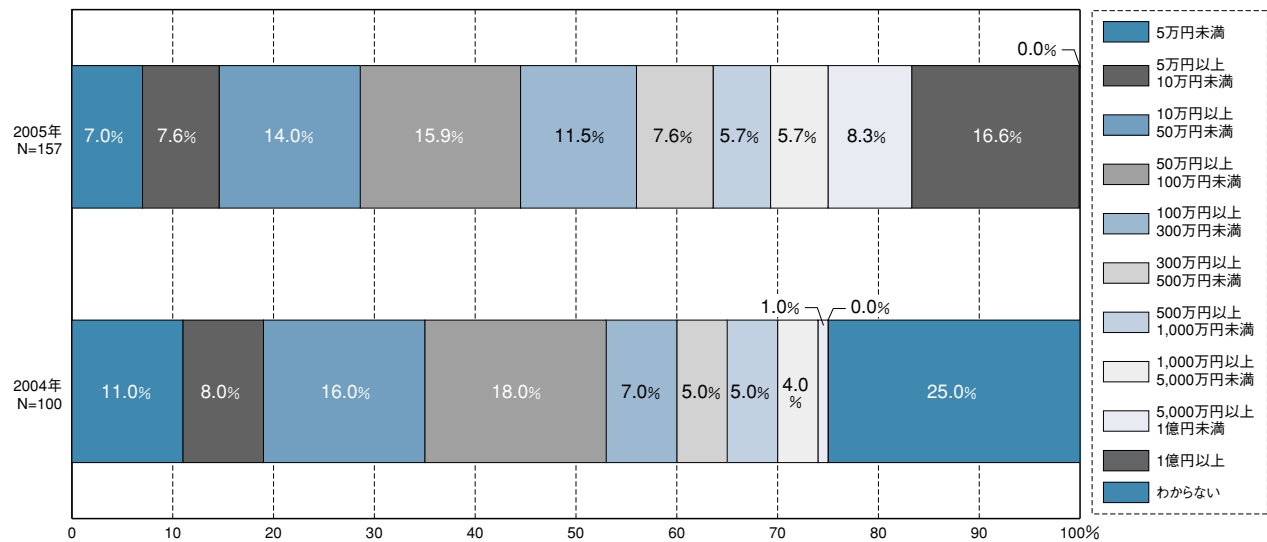
ASP利用企業 157サンプルに聞いた結果である。ASPの利用目的は、「eコマース (B2C、B2B)」が最も高く28.7%、前年との比較では約1割増となっている。次いで「人事・給与」、「営業支援」、「財務・会計」とASPを利用している。

©Access Media/
impress,2005

ASP

年間利用コストは昨年より増加

資料3-3-13 ASPの年間利用コスト



ASPの年間利用コストは、2004年と比較すると上がっている。「1億円以上」が16.6%いることも目立つが、300万円未満が半数を超える。一方2004年は、100万円未満で半数に達しており、「わからない」を除いてもコストは抑え目であった。これはASP利用企業に大規模企業が多く含まれていることが影響している。

©Access Media/
impress,2005



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp